



このたびは、当社製品をお買い上げいただきありがとうございます。この製品を末永く安全にお使いいただくために、この『組立・取扱説明書』を良く読み、正しくお使いください。また、この『組立・取扱説明書』を保管し必要なときにお読みください。

仕様

■ 樹種について

メープル メープルシロップのとれる木です。清潔感のある白い色と、つやのある木肌が特徴。硬く割れにくく、じっくり使い込むと独特の飴色に変わります。

ナラ ドングリなる木です。家具材としては最も多く使われる材料で、木目がはっきりしています。「虎斑(とらふ)」という帯状の模様が入るなど、力強い表情をしています。曲げやすいので、ウスキーの樽などにも使われます。

ウォルナット くるみのなる木の仲間です。灰色がかったブラウン色で、高級家具材として人気があります。木目が変化に富んだ模様を描き、磨くと美しいつやが出ます。衝撃に強く、楽器などにも使われます。

※天然の素材なので、同じ材料でもそれぞれの表情は異なってきます。

■ 塗装について ウレタン塗装

木の表面に膜を作るため、キズや汚れが付きにくい塗装。ふだんのお手入れは、から拭きでほこりを取るだけで充分。汚れのひどい時は薄めた石鹸水を浸した布で汚れを落とし、良く絞った布で洗剤分を拭き取り、次に柔らかい布できれいに拭き取ってください。

■ サイズ W300×D45×H300mm

■ 使用電池 単3電池1本使用(マンガン電池推奨)
※オキシライドなど電圧の高い電池は使用しないでください。

こんなときには…Q&A

Q. 時計の針に触ってしまい、針が曲がってしまった。

A. 軽く曲がった程度でしたら、まず電池を外してから、右図のように針を真っ直ぐ上へ取り外し、曲がりを直してください。次に針の曲がりや針同士が触れていないかを確認して取り付け直してください。※取り付けるときには秒針・長針・短針とも12時に合わせてセットしてください。



Q. 時計の針の動きが遅れたり止まったりする。

A. 下記のようなことが考えられますので、一度ご確認ください。

- 1. 電池が切れている → 新しい電池に交換してみてください。
- 2. 針が曲がってぶつかっている → 上記のように一度針を取り外し、取り付け直してみてください。
- 3. 秒針が深くささり込みすぎている → 秒針だけを上記のように取り外し、取り付け直してみてください。
- 4. 水晶振動子の振動数が安定していない → 使用を始めて3カ月くらいの期間は様子をご覧ください。

左記の4点を試しても改善されない場合には、お手数ですがご連絡ください。また、コサインのホームページ(www.cosine.com)のQ&Aでも「時計の取り扱い方について」を詳しく紹介しています。

www.cosine.com/enquiry/clock_mente.html

<保証書>

■ この製品は下記の保証規定により保証いたします。

通常の使用状態で、お買い上げ後1年以内に生じた機械の自然故障については無料で修理させていただきます。その際は現品に必ず本保証書を添えて、お買い上げ店にご依頼ください。(ただし電池は対象外です。付属の乾電池は工場出荷時に組み込まれたものなので電池寿命が製品仕様の表示より短い場合があります。)

■ 次のような場合は保証期間内であっても有料となります。

- a) 誤った取り扱い方、不注意による故障・損傷
- b) 天災などによって起こる故障・損傷

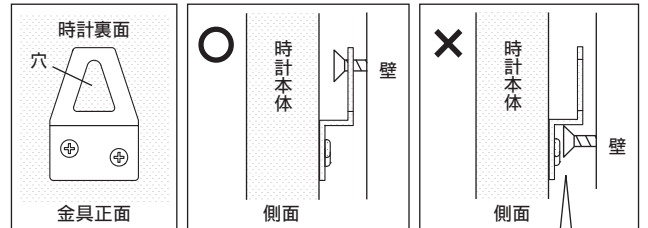
■ お問い合わせ先 株式会社コサイン カスタマーサポート

〒079-8453 北海道旭川市永山北3条6丁目2-26
TEL. 0166-47-0123 / FAX.0166-47-7450
<http://www.cosine.com>

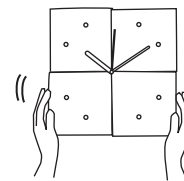
時計の取り付けについて

⚠ この時計は無垢材で作られていますので重量があります。取り付ける壁の強度(芯材の有無)をご確認の上、必ず下記の手順で確実に取り付けてください。

- ① 時計合わせは、時計裏側にあるムーブメントのダイヤルを回して調節してください。
- ② 壁に付属の木ネジを取り付け、時計裏側の金具に掛けてお使いください。その際、必ず下図のように時計をしっかりを持ったまま上下・左右に軽く動かし、木ネジが正しく掛かっているかご確認ください。



※ネジが穴に入っていない



しっかりと設置されているか確認

▲ 使用上のご注意

- ① ご使用前に必ずこの説明書を読んでください。
- ② 乱暴な取り扱いはいししないでください。安全性が低下する恐れがあります。
- ③ 取り付けの際は上記の手順のように確実に取り付けてください。
- ④ 故障の原因となりますので、下記のような場所ではご使用にならないでください。

✗ -10℃以下、+50℃以上になる・湿度が高い・ほこりが多い・家電など強い磁気が発生する・暖房器具や火気の近く・直射日光が当たる…など